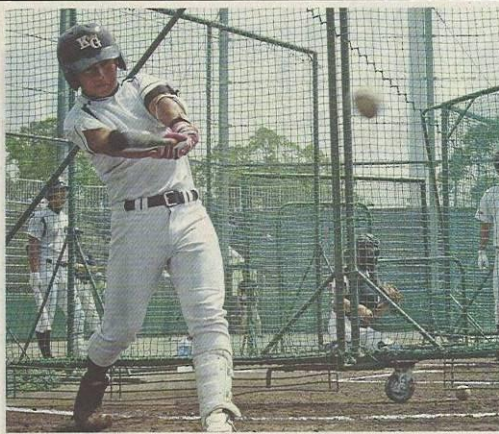


光星、初戦突破へ手応え

あす専大玉名戦

【兵庫県で本社取材班】あす11日、第2試合で初出
 第93回全国高校野球選手権 場の専大玉名(熊本)との
 大会に出場している青森県 初戦を迎える。光星ナイン
 代表の光星は大会第6日の 9日、伊丹市伊丹スポー



フリー打撃で快音を響かせる光星ナイン
 伊丹スポーツセンター野球場

ツセンター野球場で調整。
 仲井宗基監督は「やること
 は全部できている」と、初
 戦突破への手応えを語っ
 た。

この日は午前10時から約
 2時間、フリー打撃、シー
 トノックのほか、専用ニ
 角を作ってバントも念入り
 に練習。活気あふれる雰囲気
 の中で、2時間のグラウ
 ンド練習を終えた。

前日の練習場より球場が
 広がったこともあり、主砲
 田村龍弘は「広角を意識し
 て、球筋を見ながら打て
 た」と満更。川上竜平主
 将は「いい雰囲気。気だけ
 は抜かずに練習できてい
 る」と納得の表情を見せ
 た。

初戦の相手・専大玉名
 は、西宮市の大阪ガス今津
 総合グラウンドで、走塁を
 絡めたシートノック後は打
 撃中心のメニュー。投手と

の距離を近づけての打撃練
 習では、秋田教良、川上主
 将の光星2投手を意識し、
 バットの芯で捉えるイメー
 ジを膨らませていた。
 2年生エース江藤秀樹
 は、ブルペンで軽めに20

30球を投げた。「大阪入り
 してから、直球と変化球の
 両方がいいという日がまだ
 ない。甘い球がいかないよ
 う、丁寧に投げたい」と話
 した。
 攻守の要で、江藤との二
 枚看板である園道工也は同
 日、ブルペン入りしなかつ
 た。園道は「江藤が5イニ
 ング、自分が4イニングを
 投げるのが理想。7日に投



後輩でもある光星野球部員の体のケアに努める
 石藤寛之さん(出戸)

部員の心身念入りにケア

関西に滞在する光星のトは、八戸市出身で光星野球
 レーナーを務めているの部OBの石藤寛之さん

げた時は、良い感じで仕上
 がっていると思った。直球
 で押してきた」と話して
 いた。
 光星の試合や練習ビデオ
 を見ての研究は8日から始
 めたそう。山本国臣監督
 は「打撃は思っていた以上
 に迫力があった。左打者と
 3番打者(川上主将)には
 警戒が必要」との印象を語
 った。

(三) 甲子園ベスト4だっ
 た2000年の3年生。ベ
 ンチ入りメンバーかどうか
 を問わず、チーム全員の体
 のケアに目を配る。
 高校3年間は、ベンチ入
 りできなかった。00年の甲
 子園では、打撃練習中の外
 野やグラウンド整備、声出
 しなどが主な仕事。それで
 もスポーツ関係に携わろう
 と、卒業後は大阪市内の整
 骨院に就職し、柔道整復
 師、鍼灸(しんきゅう)師
 の国家資格を得て、現在は
 院長を務める。

期間中は、午前を整骨院
 の仕事をこなし、午後は吹

田市内の宿舎で部員の体を
 ケアする。
 「打撃投手などを務め
 る」ベンチ外の子も、かな
 り疲れがたまると、急に東
 京六大学への入学が決まっ
 たりする。球児の人生が変
 わる甲子園は、ベストな状
 態で試合、練習に臨んでほ
 しい」と話していた。

沢湧紀は「筋肉の構造か
 ら、分りやすく教えてく
 れる。今後のトレーニング
 にも役立つ」と話す。
 石藤さんは「甲子園でベ
 スト4入りすると、急に東
 京六大学への入学が決まっ
 たりする。球児の人生が変
 わる甲子園は、ベストな状
 態で試合、練習に臨んでほ
 しい」と話していた。

甲子園 打撃好調アピール



⑦和田 祥真=3年(大阪・守口四中)
 関西入りしてからは、バ
 ッティングの調子が上がっ
 ています。最近では後輩の天
 久(翔斗)に正左翼手の座を
 譲ってはいますが、試合
 では何としてもスタメン出
 場したいです。
 センバツの智弁和歌山戦
 では、見逃し三振でラストバ
 ッターになってしまいました。
 あの悔しさは、今でも忘れ
 ていません。
 春以降はバッティングを見
 直し、ライナー、センター
 返しなど基本的な部分を積
 み重ねてきました。常に挑
 戦者の気持ちを忘れず、チ
 ームにプラスになる働きを
 したいと思っています。